

教育と探求社・宮地社長は、 不当な社員全員解雇を撤回しろ!

宮地社長は、従業員に給与未払いのなか 退職強要を行なった!

私たちは、ユニオン東京合同 教育と探求社分会です。教育と探求社は、『クエストエデュケーションプログラム』という教育プログラムを全国の学校に提供する教育の会社です。毎年、全国約1万人の中学から大学までの生徒・学生が取り組んでいます。

また、本日開催される『日経エデュケーションチャレンジ 2009』の協力企業でもあります。その「教育と探求社」の全社員は、教育を通じて社会に貢献したい一心で、昼夜を問わず休日出勤も厭わずに一生懸命に働いてきました。

しかし、宮地社長は経営不振により多額の借金を抱えていたため、社員に対して3ヶ月もの給料を支払わないばかりか、今年2月12日から13日にかけて、社長を除く全社員に対して悪質な脅迫により突然退職することを強要しました。

私達は、この卑劣な退職強要による不当解雇を絶対に許さず、真っ向からこの問題について解決を求めるために、労働組合を結成して闘いをはじめました。

不当解雇や嫌がらせを連発する 宮地社長に教育を語る資格なし!

宮地社長の悪質な脅迫による退職強要を見れば、いかに社会的常識から外れた不当行為であるかは一目瞭然です。また、宮地社長はその不誠実な態度を改めることなく、辞めさせた元社員に対して、未だに嫌がらせを続けています。

また、本来ならば正しい知識を伝えることが求められる教育に携わる会社の社長であるにも関わらず、不正確な知識・誤った見識により、元社員の悪評を吹聴しています。例えば、法律で認められている労働組合の活動に対して、「労働組合に入るとは何事か」と言った発言や、何の根拠もないまま、「元社員は社長に借金を背負わせて、会社を転覆しようとした」などというデマを流しています。

教育に貢献しようと真摯に心血を注いできた我々は、このような人物でありながら教育者面をする悪徳な宮地社長に対して、大きな憤りを感じるとともに、教育を語る資格がないと考えます。



私達は、多くの青年労働者の「誇り」と「未来」のためにも闘います!

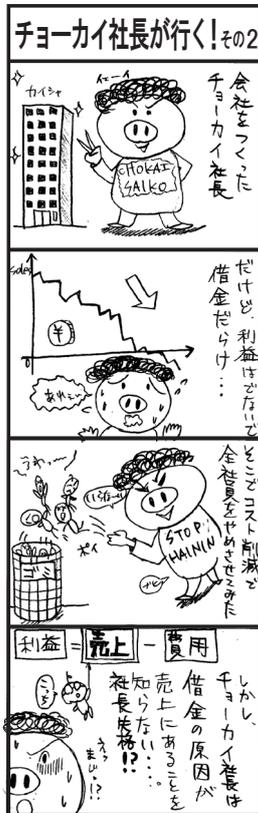
今社会は、金融恐慌・経済不況によって大きな不安を抱えています。企業間の競争は過熱化し、そのしわ寄せが現場労働者に押し付けられているのです。そして中でも最も弱い立場に置かれるのは、若い労働者です。今そのような多くの青年労働者が変革を求めて各地で立ち上がっています。私達の解雇撤回闘争は、自分達だけの問題ではなく、多くの青年労働者と連帯・団結した活動です。私達は、多くの若い労働者が働き手としての誇りを持ち、明るい未来をその手にするために、悪しき実例を許すことはできません。宮地社長の横暴と独断を絶対に許さず、解雇撤回を勝ち取るまで闘います。多くのご支援と共に闘うことを訴えます。

2009年7月22日



抗議・要請先

株式会社教育と探求社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-19 D2ビル
代表取締役社長執行役員：宮地勘司 電話：03-6672-3411 FAX：03-6683-4296



◆◆◆ ユニオン東京合同からのお知らせ ◆◆◆

09年7月25日(土) 18時半～ 杉並産業商工会館
解雇撤回! 民営化絶対反対! 東京青年労働者集会
主催 7.25 集会実行委員会

09年7月31日(金) 19時～21時 ユニオン東京合同 学習会
「オバマ大統領のプラハ演説は核廃絶への道なのか?」
— サンフランシスコ国際労働者会議に参加した訪米報告を兼ねて—
提起：三角忠 (ユニオン東京合同 副委員長)
会場：九段生涯学習館第1集会室 (東京都千代田区九段南 1-5-10)

ユニオン東京合同
住所：東京都千代田区三崎町 2-17-8 皆川ビル 301
TEL&FAX：03-3262-4440
メール：info@union-tg.org
ホームページ：http://www.union-tg.org/



UNION Tokyo Godo

ユニオン東京合同 教育と探求社分会
www.eduq-union.com